



# makechange™

Embrace change | Design for change | Deliver change

## NSGグループ サステナブル・サプライチェーン憲章

第1号 | 2023年9月18日

**NSG**  
GROUP

# 目次

序文	03
NSGグループのサステナビリティの歩み	05
サプライヤー様との協力体制	06
サプライヤー様が利用できるリソース	07
憲章要件	08
指針	09

1.温室効果ガス排出量の削減	10
2.環境保護	13
3.労働と人権の保護	16
4.廃棄物の削減	19
5.水資源の保全	22
6.透明性の向上	25
7.DE&I（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）の支援	28
8.コミュニティ支援	31
持続可能性の優先順位付けヒートマップ	34
地域別支出ヒートマップ	37

# 序文

NSGグループの「サステナブル・サプライチェーン憲章」を、世界中のサプライチェーン・パートナーの皆様にご紹介できることを光栄に思っております。

NSGグループとそのステークホルダーは、原材料調達の持続可能性や、環境・人権問題に関するサプライヤーの皆様の取り組みなど、サプライチェーンのリスクと影響に大きな関心を寄せています。私たちは、多様かつグローバルな規模でサプライヤーの皆様と協力し、関係者全員の利益のために環境と社会にポジティブな影響を与えたいと考えています。

本憲章はその目標に向かう根幹をなすもので、現在そして将来の世代の利益のために、気候変動への対策、社会的平等の追求、環境と労働者権利の保護について協力しあうという私たちのビジョンを表現しています。

サプライヤーの皆様とNSGグループが戦略的かつ望ましい関係を構築し、維持していくには、この憲章が掲げる方針にご賛同いただくだけでなく、その内容を遵守していくことが期待されています。

サプライヤーの皆様におかれましては、NSGグループの購買部門および事業部門とご協力いただき、重要事項に関する継続的改善のためのアクションプランをご検討いただけますと幸いです。本憲章をご一読のほど、宜しく願い申し上げます。



**細沼 宗浩**

取締役  
代表執行役

社長兼最高経営責任者（CEO）



# 序文（つづき）

力を合わせれば最大の効果を発揮できる8つの優先行動分野：



温室効果ガスの削減



環境保護



労働と  
人権の保護



廃棄物の削減



水資源の保全



DE&I（ダイバーシティ・エクイ  
ティ&インクルージョン）の支援



透明性の向上



コミュニティ支援

これらの優先分野がどの程度適用されるかは、事業活動によって異なります。NSGグループの購買部は、皆様と協力して、重点事項と行動計画の優先順位を決定します。この作業の指針として、私たちは二酸化炭素削減のための科学的根拠に基づく目標（SBTイニシアチブの認定）を含む適切なKPIを作成し、共通の目標に向けた進捗状況を監視する予定です。

NSGグループの調達ミッション・ステートメントである「サプライチェーンを活用し、世界を改善する」は、環境と社会に積極的に貢献するために、サプライチェーン・パートナーとどのように協力したいかを示しています。私たちは、その目標を実現するために皆様と緊密に協力することを楽しみにしています。



# NSGグループのサステナビリティの歩み

NSGグループは、環境と社会への影響を改善するため、グループ全体で持続可能な活動を推進するサステナビリティ・ポリシーを2009年に初めて導入しました。

本ポリシーには、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」に基づく持続可能性目標や、ステークホルダーから重要だと指摘された課題に対応する目標が含まれています。

例えば、気候変動への対応として、NSGグループは科学的根拠に基づく二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量の削減目標を設定しています。私たちは、2030年までにスコープ1とスコープ2の排出量を30%削減することを目標としています。私たちは、再生可能エネルギーへの転換と製造工程におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減に積極的に取り組んでいます。これらの目標は、環境にやさしい製品の開発とともに、私たちの気候変動戦略の基礎となっています。

NSGグループは、グローバルな製造企業として、資源の使用にも重要な影響力があります。私たちは、天然資源の使用量を削減し、あらゆる形態の廃棄物を最小限に抑えることを目指し、循環型経済の実現に向けて懸命に取り組んでいます。

これまでのところ、これらの目標は主に自社事業に焦点を当てています。私たちはステークホルダーのニーズを見越し、サプライチェーン全体でも持続可能性を向上させたいと考えています。

NSGグループはすでにスタートを切っています。例えば、私たちは、サプライヤーの皆様に対して、最低限の要件を定めた「サプライヤー行動規範」に合意いただくよう求めています。また、2022年には気候変動戦略を更新し、科学的根拠に基づく目標を用いて2030年までにスコープ3のCO<sub>2</sub>排出量を30%削減する目標を盛り込みました。

本憲章では、8つの優先分野に取り組むためのNSGグループのコミットメントと長期的な目標、そしてそれを達成するために私たちがサプライヤーである皆様とどのように協力できるかを定めています。

包括的なサステナビリティ戦略の詳細については、[サステナビリティ・ウェブページ](#)をご覧ください。



# サプライヤー様との協力体制



NSGグループの優先的/戦略的サプライヤーとして位置づけられるための要件として、本憲章の原則を受け入れ、これに取り組む必要があります。



本憲章がどのような影響を及ぼすかは、事業規模、所在地、性質、重要性リスク、およびNSGグループとの取引関係によって決定するリスクプロファイルによって異なります。



その一助となるよう、8つの優先分野それぞれにおける相対的な優先順位（高、中、低）を、素材カテゴリー別、事業機能別、地域別に示した2つの「ヒートマップ」（35-37ページ参照）を作成しました。



NSGグループでは、サプライヤーの皆様が、そのリスクプロファイルにかかわらず、本憲章の要件に取り組むことを奨励しています。しかし、製品やサービスの入札を行う際には、ヒートマップ上の優先順位の高い分野や中位の分野に最も関心を持ち、将来の持続可能性へのコミットメントに向けて、さらに皆様と共に検討していきます。



優先順位の低い製品およびサービスは、現時点では要件に対して評価されません。優先順位は定期的に見直され、ヒートマップは変更される可能性があります。



NSGグループは、最高水準を達成するために継続的に改善し、皆様と共に取り組むことをお約束します。その一環として、当グループでは貴社の業績を継続的に評価し、年次レビューの話し合いの一環としてサステナビリティの機会について話し合う予定です。本憲章の最低要件を満たしていない場合は、その旨をお知らせください。



# サプライヤー様が利用できるリソース

NSGグループでは、誠実で倫理的であるという長年の価値観に沿って、要件を満たすために、率直かつ誠実に皆様と協力したいと考えています。

当グループの購買部門は、当社の調達方針、運用システム、プロセスに関するあらゆるご質問にお答えします。

また、NSGグループでは、倫理的かつ安全にビジネスに取り組むことを約束し、持続可能性におけるその重要性を認識しています。当グループとの業務に関して懸念がある場合は、通常の購買担当者に直接相談することをお勧めします。深刻な問題に遭遇し、通常の担当者で対処できない場合は、[NSG倫理・コンプライアンス・ホットライン](#)を通じてご連絡いただけますでしょうか。皆様の行動が、私たちをより良い企業体へと導きます。

## 本憲章の原則を遵守するために提供されるリソース：



### オンライン・トレーニング・プログラム。

このプログラムでは、憲章のあらゆる側面と、NSGグループがサプライヤー様に期待することを説明しています。当社が戦略的/優先的なサプライヤーとして位置づけたサプライヤー様には、このトレーニングを修了いただく必要があります。それ以外のサプライヤー様の修了は、任意です。トレーニング・プログラムへのアクセス  
<https://www.supplychainschool.co.uk/partners/nsg-group/>



### サプライヤー・コラボレーション・デー。

年に4回開催されるこの会議では、さまざまな分野のサプライヤー様とベストプラクティスを共有します。ここでの目的は、コラボレーションを向上させ、その結果、共通の目標をより早く達成することです。



### EcoVadisトレーニング・プラットフォームへのアクセス。

既にEcoVadisプラットフォームを通じてサステナビリティ・アセスメントに参加済みのサプライヤー様には、EcoVadisアカデミーで利用可能なトレーニング・リソースを積極的に活用されることをお勧めしています。  
(NSGの戦略的/優先的なサプライヤーとして位置づけられるためには、EcoVadisによるアセスメントを完了する必要があります。)



# 憲章要件

8つの優先分野に対する要件は、以下の見出しの下に一貫して定められています：



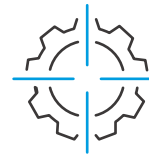
## NSGグループの取り組み

NSGグループが自ら設定したコミットメントと目標は、毎年報告されます。



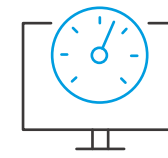
## サプライヤー様に期待すること

サプライヤー様に求める行動。行動していない場合は、行動するためにあらゆる合理的な努力をしていることを示す必要があります。



## 共通の目標

協働によって実現したいこと、調達プロセスや継続的な対話を通じてそれをどのように実現できるか。



## 主要評価指標

サステナビリティ・パフォーマンスを測定し、報告し、継続的に改善するために同意する主要評価指標。主要評価指標は、事業の規模や性質、および合意に基づき、適切に設定されます。





# 指針

目標を達成する最善のチャンスを得るためには、NSGグループとサプライチェーンに関わるすべての人々の足並みを揃えることが重要です。そのため、当グループとサプライヤーの皆様は、以下の指針に従って行動するものとします。



## 遵守する

NSGグループとサプライヤーの皆様は、優先分野に関連する事業活動を行うにあたり、関連するすべての法律と規制を遵守し、業界の要件に準拠します。



## 可能にする

より良い環境的、社会的、経済的価値を生み出すための新たな解決策を特定し、活用するために、全員が協力します。私たちは、各従業員やサプライチェーン・パートナーにトレーニングと能力開発の機会を提供することで、この目標を支援します。



## 責任を果たす

私たちは、関連するすべての優先分野におけるパフォーマンスを継続的に改善するために、サプライヤーの皆様とやり甲斐のある目標に合意します。私たちは、これらの目標に対する進捗状況を毎年測定、管理、報告します。私たちは、合意した目標に対する実績について、率直に、正直に、透明性をもってコミュニケーションを図り、知識とベストプラクティスを共有します。私たちは、共通の目標を達成する能力に悪影響を及ぼす活動についての認識を高めます。



## 是正措置の管理

私たちは、目標を達成するために懸命に努力し、互いにサポートし合います。失敗している場合、お互いに助け合って改善します。私たちは、上流のサプライヤー様、請負、下請けのお取引先様を含むすべてのビジネスパートナーとの共通の目標を遵守します。



# 温室効果ガス排出量の削減

NSGグループは、温室効果ガス（GHG）排出量の削減が喫緊の課題であることを認識しています。当グループの対応については、「[カーボン・ニュートラルへのロードマップ](#)」に記載されています。NSGが約束すること：



2030年までにGHG排出量を30%削減する



SBT（Science Based Targets）の2℃を十分に下回る水準に合わせる



2050年までにカーボンニュートラルを実現する



NSGグループでは、再生可能エネルギーへの切り替え、炉のエネルギー効率の改善、低炭素燃料の導入、カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト（CDP）の枠組みを通じた排出量とリスクの報告などにより、温室効果ガス排出量の削減を実現しています。











現在は、サプライヤー様と協力して確実な排出量データを収集し、スコープ3の排出量とともに削減できるようにしたいと考えています。



# 温室効果ガス排出量の削減（続き）









## NSGグループが取り組んでいること

### 私たちが約束すること：

-  2030年までに絶対排出量を30%削減し、2050年までにカーボンニュートラルを実現
-  事業における再生可能エネルギーと低炭素燃料の利用拡大
-  炉の効率を最大限に高める
-  ガラス製造の二酸化炭素排出量を削減するため、水素燃焼などの研究開発に投資する
-  より多くの再生ガラス（カレット）を製品に使用するためのプロセスの適応
-  サプライヤー様の選定と評価における持続可能性の基準の使用、および契約への要件の統合
-  サプライヤー様が自社の二酸化炭素排出量を理解するのを支援する
-  バリューチェーン全体での協力

## サプライヤー様に期待すること

### 該当する場合、私たちがお願いすること：



-  GHGプロトコルなどの公認プロトコルを用いて、スコープ1とスコープ2の排出量を測定し、報告する
-  自社のスコープ3の排出量を分析する
-  二酸化炭素排出量を削減するための野心的な目標を設定する
-  スコープ1、スコープ2、スコープ3の排出量を削減したことを証明する
-  炭素使用量データを毎年、自社の報告書または[CDPの年次アンケート](#)で報告する
-  ロジスティクス業務とサービス・モデルの二酸化炭素排出量を削減するために、当社と協力する
-  再生可能エネルギーを使用するか、それが不可能な場合はその理由を説明する
-  気候変動が商品やサービスに与える影響について検討する。可能な限り、気候変動の物理的な影響に対処できるよう、プロセスを適応させる



# 温室効果ガス排出量の削減（続き）









## 共通の目標

私たちが一緒にすること：

-  ネット・ゼロ・カーボン経済への移行を支援する
-  NSGグループのスコープ3排出量の確固たるベンチマークを設定する

## 主要評価指標

該当する場合、私たちが求める報告内容：

-  温室効果ガス総排出量（tCO<sub>2</sub>e）をスコープ1とスコープ2の排出量別に分類したもの
-  スコープ3排出量の推定と内訳
-  tCO<sub>2</sub>eで測定された総温室効果ガス排出量の前年比変化率
-  供給されるユニットあたりのCO<sub>2</sub>排出量
-  電力使用量に占める再生可能エネルギー源の割合
-  カーボンフットプリントが第三者によって検証されたことを示す証拠
-  特定の材料に関する環境製品宣言（EPD）
-  実施した二酸化炭素削減イニシアチブの数とその影響、およびこれらのプロジェクトに投資した金額



## 環境保護



NSGグループは、大気・水質・土壌の汚染を予防・低減し、生物多様性を保全・向上させることにより、環境を保全することの重要性を認識しています。



NSGグループでは、ISO14001の認証を受けた環境マネジメントシステム（EMS）をほとんどの事業で運用しています。何らかの理由で環境規制を遵守できなかった場合は、その記録を保存しています。私たちは、さまざまな方法で大気汚染を削減し、古い採石場を修復して生物多様性への影響を最小限に抑えています。



現在、NSGグループではサプライチェーンにおける環境リスクを理解したいと考えています。私たちは、原材料、燃料油、廃棄物管理化学物質、コーティング剤、中間膜材料など、環境に大きな影響を与える可能性のある供給カテゴリーを特定しました。これらの原材料を使用する部門のサプライヤー様には、ISO14001の認証を受けたEMSの運用を要請しています。



## 環境保護（続き）

### NSGグループが取り組んでいること

#### 私たちが約束すること：



環境への影響を減らす



サプライヤー様と協力し、サプライチェーンにおける環境リスクを理解する



環境にリスクをもたらす物質を責任を持って管理する



倫理的で持続可能な、可能であれば現地の原材料を使用し、現場で使用されるすべての原材料が関連する認証を取得していることを確認する

### サプライヤー様に期待すること

#### 該当する場合、私たちがお願いすること：



EMSの導入で環境への影響を最小限に抑える



EMSがISO14001のような公認規格の認証を受けている証拠を提出する



公害や汚染のリスクを低減するための活動管理



事業所およびサプライチェーンを通じた生物多様性の強化



必要に応じて、販売する製品のライフ・サイクル・アセスメント（LCA）の結果をNSGグループと共有する



優先順位の高い資材の自社の調達先を監査し、NSGグループと情報を共有する



# 環境保護（続き）

## 共通の目標

### 私たちが一緒にすること：



環境への影響を最小限に抑える新しいプロセスや製品を開発する



原材料を採取する際に、自然の生息地と生物多様性を保全または強化する



サプライチェーンにおける汚染を最小限に抑える



天然資源を持続的に利用する



必要に応じて、ISO14001 などの認定規格で認証された独自の EMS と、ISO50001 などの認定規格で認証されたエネルギーマネジメントシステム（EnMS）を開発するよう、サプライヤー様を支援する

## 主要評価指標

### 該当する場合、私たちが求める報告内容：



完了したEcoVadisアセスメントとスコア



EMS認証の証拠（ISO14001認証書など）



供給する製品の環境影響に関する証拠（LCAなど）



必要に応じて ISO 14001に準拠したEMSを運用しているサプライヤーの割合



汚染を引き起こしたインシデントの数、特に法律違反の場合、インシデントの原因とそれに対処するために講じた措置など



電気自動車または低排出ガス車による年間走行距離／kmの割合



責任を持って調達された原材料および商品の総量。調達方法を示す独立した証拠を含む（適切な証明書など）



生物多様性を保護または強化するためのイニシアチブの数、内容、影響



森林破壊、土地転換、生息地破壊のリスクのある地域から調達した原材料の割合



## 労働と人権の保護



NSGグループでは、国際的な人権原則に基づく「グループ倫理規範」が適用されます。本倫理規範では、強制労働や労働関連の不正を撤廃することを約束しています。当グループにおける人権や労働条件について懸念がある場合は、[倫理・コンプライアンスホットライン](#)を利用して報告することを従業員に奨励しています。



お取引前に、「[サプライヤー行動規範](#)」に同意いただくことで、サプライヤーの皆様には、同様の倫理原則に則って行動することを求めています。また、サプライヤーの皆様が雇用、児童労働、奴隷制度、人身売買に関する法律を遵守していることも確認しています。






# 労働と人権の保護（続き）










## NSGグループが取り組んでいること

### 私たちが約束すること：

-  従業員が健康で幸せでいられるよう支援する
-  従業員の雇用条件と労働時間を安全なものにする
-  研修や能力開発で従業員の仕事をサポートする
-  従業員を公平に扱う。すなわち、従業員は均等な機会、均等な賃金が与えられ、差別やハラスメントから保護される。
-  贈収賄と汚職に関与しない
-  強制労働や児童労働に従事しない
-  事業およびサプライチェーンにおけるあらゆる形態の現代奴隷制を防止する
-  サプライチェーンにおける労働者の権利に関連するリスクを把握する

## サプライヤー様に期待すること

### 該当する場合、私たちがお願いすること：







-  従業員の安全、幸せ、健康を支援する
-  [Global Living Wage Coalition](#)のような信頼できる機関によって定義された、労働者の基本的ニーズを満たし、雇用国において適切な生活水準を確保できるような公正な賃金と手当を支払う。
-  結社の自由に対する労働者の権利を尊重する。つまり、希望すれば労働者が組合を結成したり組合に加入したりできるようにし、仕事に関連するすべての問題について労働者による団体交渉を認めるべきである。現地の法律がこの権利を制限している場合は、労働者に同等の結社の自由を認めるべきである。
-  従業員や請負業者に、企業に対する懸念事項を報告し、解決する公正な方法を提供する
-  従業員に研修と能力開発の機会を提供し、業務遂行と安全で健康的な生活を支援する
-  労働者の健康、安全、およびセキュリティを保護するために、適切かつ十分に効果的な安全管理システムを運用する
-  職場における安全衛生事故の件数と深刻度が減少している証拠を提出する
-  現代奴隷制を防止する計画を立て、従業員にその特定方法を周知する
-  自社のサプライヤーが当社の「サプライヤー行動規範」に適合していることを確認し、適合していない場合はその結果を伝える



# 労働と人権の保護（続き）













## 共通の目標

### 私たちが一緒にすること：

-  サプライチェーン全体で人権と公正な労働条件を守る
-  自社事業およびサプライチェーンで働く労働者が重大な危害を受けるリスクに直面しないようにする
-  過度な労働時間を最小限に抑えることで、すべての労働者の健全なワーク・ライフ・バランスを支援する
-  すべての労働者に、雇用国の公正な生活賃金を支払う
-  労働や賃金が保証されない非正規労働者との契約（ゼロ時間契約など）を撤廃する
-  サプライヤー様の協力を得て、サプライチェーンの早い段階で現代奴隷制のリスクを特定し、排除する

## 主要評価指標

### 該当する場合、私たちが求める報告内容：

-  完了したEcoVadisアセスメントとスコア
-  雇用国の公正な生活賃金が支払われている労働者の割合
-  労働や賃金が保証されていない非正規契約（例：ゼロ時間契約）で雇用されている労働者の割合
-  認知している組合と、その組合と締結している協約の詳細
-  人権および労働条件に関する法律違反が疑われ、その事実が確認された回数
-  サプライチェーン・パートナーが人権および労働条件に関する法律違反で起訴され、罰金を科せられた回数
-  現代奴隷制を特定し報告する方法を知っている従業員の割合
-  サプライチェーンに含まれる組織が、現代奴隷制または人身売買に関与していると確認された回数
-  職場の安全衛生管理に関して取得している認証の証拠（ISO45001への適合など）
-  業務の健全性、安全性、セキュリティに関する監査または検査の結果
-  現地の安全衛生規制当局（安全衛生管理局または環境衛生責任者など）が、安全衛生規則違反のために強制措置を取らせた回数
-  業務遂行中に重傷を負った、あるいは死亡した労働者の数



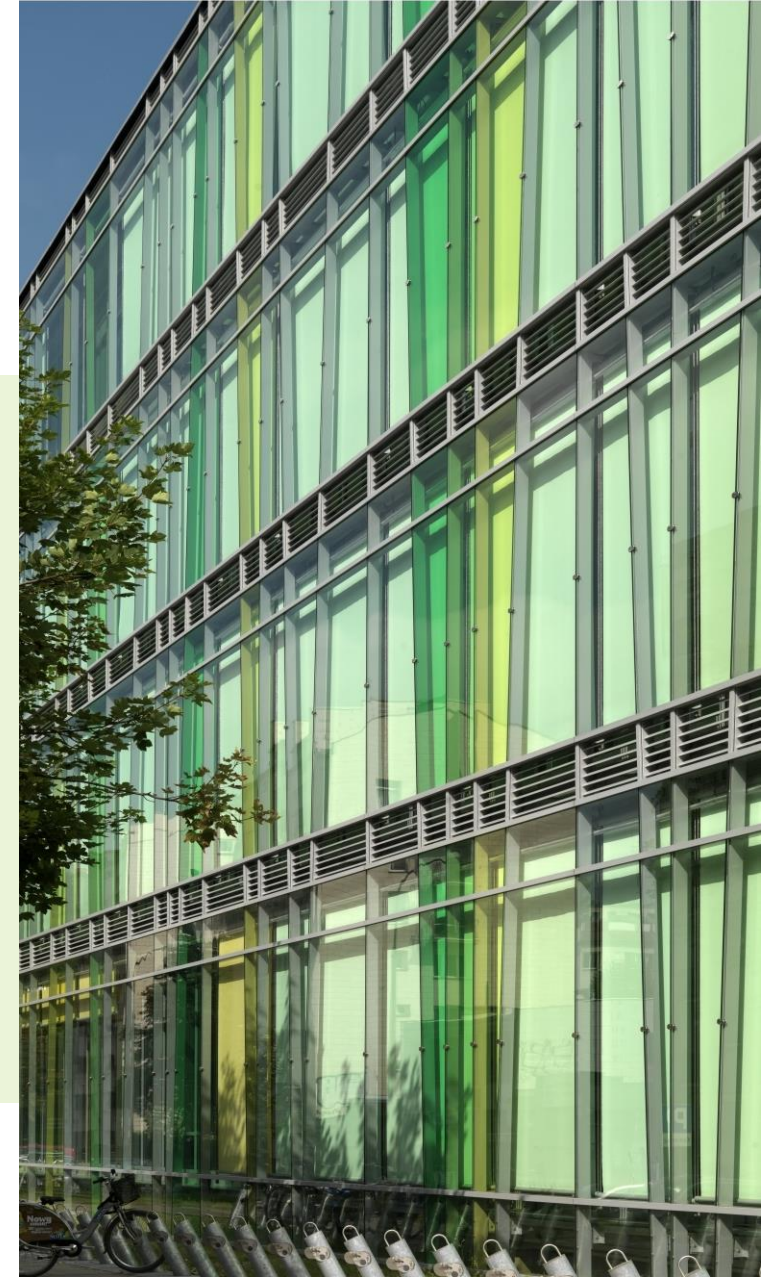
## 廃棄物の削減



原材料をより効率的に使用することで、温室効果ガスを削減し、環境への影響を抑えることができます。NSGグループでは、素材を使用する企業として、循環型社会、すなわち可能な限り多くの素材を再利用、リサイクル、または回収し、廃棄物を最小限に抑えることに取り組んでいます。



NSGグループではすでに、自社の製造活動から出るすべてのカレットを溶解工程で再利用し、フロートガラスを作ったり、他の分野で使用したりしています。私たちは、事業活動から出る廃棄物を監視・報告し、埋立処分量を削減するための中期目標を設定しています。



## 廃棄物の削減（続き）

### NSGグループが取り組んでいること

#### 私たちが約束すること：



カレット、中間膜の切れ端、不合格バッチを埋め立て処分しないようリサイクルするパートナーを見つける



包装資材の回避または再利用



顧客、建築家、規制当局に対し、不要になった板ガラスや合わせガラスを保存し、再溶解して原料として再利用するよう奨励している



サプライヤー様と協力し、廃棄物を削減するような循環型の製品設計を行う

### サプライヤー様に期待すること

#### 該当する場合、私たちがお願いすること：



廃棄物を発生源から削減する計画を立て、そのためのマイルストーンを設定する



パートナーシップから発生する廃棄物の量を定期的に報告する



廃棄物削減の目標を設定し、目標に対する進捗状況を報告する



廃棄物を埋め立てないことを目標に、廃棄物ヒエラルキー（すなわち、使用量を減らす、再使用する、リサイクルする、回収する、廃棄する）に従い、事業活動において材料資源を効率的に使用する



製造工程や製品設計から廃棄物を削減する新しい方法を共に見つける



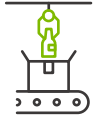
## 廃棄物の削減（続き）

### 共通の目標

私たちが一緒にすること：



ガラス製造部門における循環性を目指し、原材料の供給源を保護する



梱包材はできるだけ使用せず、使用せざるを得ない場合は再利用の方法を検討する

### 主要評価指標

該当する場合、私たちが求める報告内容：



供給される製品および原材料に含まれる再利用およびリサイクルされる素材の割合



使い捨てプラスチック供給量（単位：トン）



単位当たりの廃棄物発生量（単位：トン）



埋め立てから転換された廃棄物の割合



# 水資源の保全

水は、私たちが活動する地域社会と事業にとって極めて重要な資源です。NSGグループの[水に関する方針](#)は、当グループの目標を示しています：



水をできるだけ効率的に使用する



水質を維持する



当グループの事業が地域社会の水へのアクセスに影響を与えないようにする



NSGグループは、水リスクを適切に考慮できるよう、水不足地域で事業を展開する事業部門を特定しました。また、新たなサプライヤー様や施設用地を選定する際にも、水リスクを考慮しています。



# 水資源の保全（続き）

## NSGグループが取り組んでいること

### 私たちが約束すること：



水資源の保全に関するKPIを報告し、継続的に改善する



環境条件の変化に応じて、水保全に関するリスク評価を定期的に更新し、適宜対応する



特に水不足地域における水の消費量を削減する



利害関係者、政府、企業、団体と協力し、責任ある水管理のベストプラクティスを構築する



従業員や請負業者に水資源の保全に関する研修や情報を提供する

## サプライヤー様に期待すること

### 該当する場合、私たちがお願いすること：



自社の事業において、水に関する方針の原則を採用し、実施することを約束する



水に関する方針の原則をサプライヤー様の業務に導入し、実施するよう奨励する



真水の消費量と水源を測定して報告する



自社のウォーターフットプリントを報告し、水不足地域で活動するサプライチェーンを特定する



真水と飲料水の消費量を削減するための戦略を持ち、クローズド・ループ・ウォーター・システム、すなわち水を再循環させて損失を最小限に抑えるシステムを取り入れる機会を見出す



# 水資源の保全（続き）

## 共通の目標

私たちが一緒にすること：



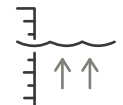
サプライチェーンにおける水の影響、リスク、ストレスを理解する



取水による悪影響を最小限に抑え、地域社会が常に水を利用できるようにする



水の消費量を最適なレベルまで削減する



最適なレベルに達したという証拠を提示できるようになる

## 主要評価指標

該当する場合、私たちが求める報告内容：



業務で消費する真水の量



現場で回収して再利用する水の量



事業活動において水を節約するために実施した取り組みの件数



サプライチェーンに含まれる組織のうち、水ストレスの高い地域にあると評価する組織の割合



サプライチェーンにおける水資源リスクの評価と、それを軽減するための措置





## 透明性の向上



NSGグループは、サプライチェーンにおける持続可能性への影響について透明性を保つ（＝オープンで正直である）ことが重要だと考えています。当グループでは取り組みを示すために、2017年から気候関連財務情報開示タスクフォースを通じて気候変動への影響を報告しています。



NSGグループではすでに、「サプライヤーのパフォーマンスとリスク管理手順」を通じて、お取引で発生しかねないリスクを理解するために、サプライヤーの皆様活動を評価しています。高いリスクが生じかねないと評価した場合は、そのリスクを軽減するための計画を立て、定期的に更新しています。



また私たちは、協力し合うことで、リスクはより効果的に管理できると信じています。そのため、サプライヤーの皆様とより緊密に協力し、サプライチェーン全体の透明性を向上させたいと考えています。



## 透明性の向上（続き）

### NSGグループが取り組んでいること

#### 私たちが約束すること：



EcoVadisプラットフォームを利用した統合戦略の開発により、報告されたインシデントに関する情報を見つけやすくする



世界で最も野心的なデューデリジェンス法に準拠する



サードパーティのソフトウェアを使用して、サプライヤーの財務実績と上級管理職のインテグリティを評価・監視する



サプライチェーンに関わるすべての人が「内部告発」（不正行為の報告）をしやすい環境にする



サードパーティプロバイダーと協力して、リスクの高い活動を行うティア1およびティア2のサプライヤーの持続可能性リスクを監視する

### サプライヤー様に期待すること

#### 該当する場合、私たちがお願いすること：



EcoVadisアセスメントを毎年実施



主要調達先とその事業所を報告する



調達先のグローバル・マップを作成し、その活動を検証するために、調達先、その調達先自身の調達先、およびそのために働く人々に関する情報を収集する



調達先が提供する商品や原材料の出所を追跡しやすくするための目標を設定し、それに対する進捗状況を報告する



リスク登録簿を作成し、毎年当社と共有する。登録簿には、関連する倫理的、環境的リスクおよび供給の信頼性に影響を及ぼしうるリスクをすべて記載すること。また、登録簿には、これらのリスクを管理するために調達先がとった措置も記録すること



気候関連財務情報開示タスクフォースやグローバル・レポーティング・イニシアチブなどのフレームワークを通じて、関連するリスクを管理するための取り組みを報告する



従業員やその他の利害関係者が、実際のコンプライアンス違反やその疑いを報告するための公正で安全な方法（内部告発の仕組み）を確保する



# 透明性の向上（続き）

## 共通の目標

### 私たちが一緒にすること：



共同でリスクを監視し、軽減するための共同リスク監視活動を確立する



世界最大のデューデリジェンス法に準拠する



サプライチェーンにおけるリスク管理方法を継続的に改善するための計画を策定する。この計画には、トレーニング、リスクの測定、サプライチェーン・パートナーの関与の強化などが含まれる



リスクが高い場合は、複数の階層のサプライヤーを監視し、一緒にリスクを軽減するために、第三者プロバイダーを利用する方向で取り組む

## 主要評価指標

### 該当する場合、私たちが求める報告内容：



EcoVadisアセスメントの結果



リスク登録とリスク軽減計画があること



ティア1および優先度の高いティア2の調達先にマッピングしたリスクの割合



内部告発の仕組みがあること



調達先のリスク登録の詳細



非倫理的行為に関するサプライチェーンからの苦情件数



# DE&I（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）の支援



「基本ステートメント」では、NSGグループがより多様で、公平で、包括的な職場となることを目指していることが示されています。当グループでは、すべての人にその可能性を最大限に発揮する機会を平等に与えることを信条とし、人々の背景、経験、嗜好、信念の違いを認識、尊重し、大切にしています。これらの目標を達成するための措置として、例えば、従業員調査、柔軟な勤務形態の提供、全管理職へのアンコンシャス（無意識）・バイアストレーニングなどを実施しています。



# DE&I（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）の支援（続き）

## NSGグループが取り組んでいること

### 私たちが約束すること：



NSGグループ全体で多様性を推進し、包括的な職場づくりを目指す



DE&I（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）を改善できる分野を特定し、各事業部門、機能、地域における進捗状況を追跡する



すべてのサイトが誰でもアクセスできるようにする



職場におけるいじめ、ハラスメント、あらゆる差別のリスクを防止する



地域社会や環境に良い影響を与えることができるよう、革新的な技術でイノベーションを起こせるような多様性のあるサプライヤーを探す



個人情報をより強固に守るため、情報の取り扱いやレポート方法を改善する

## サプライヤー様に期待すること

### 該当する場合、私たちがお願いすること：



組織のあらゆるレベルにおいて、多様性、公平性、包括性を改善することを約束し、DE&I目標に向けた進捗状況を報告する



従業員に対するハラスメントや差別を防止し、包括的で尊重される職場文化を促進する



将来の従業員と現在の従業員すべてに一人一人にあった最適な機会を与える



マイノリティが経営する社会的企業や職人的企業に事業機会を提供することにより、調達先の多様性を向上させるための目標を設定して伝える



ベストプラクティスをNSGグループや他のステークホルダーと共有する



# DE&I（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）の支援（続き）

## 共通の目標

### 私たちが一緒にすること：



多様性を重視し、真に包括的な職場にする



サプライヤーの選定と採用の両プロセスにおいて、ダイバーシティとインクルージョンを積極的に推進し、サプライチェーンの多様性を高める



各サプライヤーの選定・採用方法において、DE&Iを積極的に推進する

## 主要評価指標

### 該当する場合、私たちが求める報告内容：



性別、民族、障害、その他の特性による従業員の構成



DE&I研修を受けた従業員の割合



従業員満足度調査の結果



従業員のうち、障がいを持った方、女性などを含む、労働市場においてマイリティとされてきた人たちの割合



男性と女性の賃金の平均差（＝男女間の賃金格差）をパーセンテージで表したもの



組織内で最も給与の低い従業員と最も給与の高い従業員の差（＝役員給与の差）を比率で表したもの



従業員に占める技能実習生の割合



従業員に提供した研修時間数



## コミュニティ支援



NSGグループは、地域社会にとって責任ある良き隣人となり、人々の生活にプラスの影響を与えたいと考えています。



当グループは、事業を展開している一部の場所では最大の雇用主であるため、それらの地域社会をサポートする上で重要な役割を担っています。



また、当グループが使用する原材料や購入する製品が紛争や人権侵害に加担しないよう、リスクを軽減しなければなりません。



# コミュニティ支援（続き）

## NSGグループが取り組んでいること

### 私たちが約束すること：



関連する場合、サプライヤーと協力して、購入する部品やアセンブリに紛争地域から調達された鉱物が含まれているかを確認する



NSGグループが事業を展開している場所での地域社会への取り組みを奨励・促進し、こうした地域社会への取り組みの影響について報告する。当グループの事業に地元企業コミュニティを参加させ、地元サプライヤーに私たちと協働する公正な機会を提供する

## サプライヤー様に期待すること

### 該当する場合、私たちがお願いすること：



「[サプライヤー行動規範](#)」に従い、NSGグループに供給する製品に使用される鉱物の購入が、武装集団や人権侵害に関与する人々に資金を提供したり、利益をもたらしたりするものでないことを確認する



事業活動が、地域社会の健康、安全、福祉にどのようなリスクをもたらす可能性があるのかを報告する。これらのリスクには可能性が含まれる：

- 土地、大気、水の汚染、
- 生物多様性の損失、
- 紛争
- 先住民の土地の権利の乱用



地域社会に対するリスクを軽減するためにどのような措置を講じているか、また、事業活動の地域社会に対してどのようにプラスの社会的価値を提供しているかについての証拠を提示する



地域社会の取り組みについて、地元の関係者と協力する計画を持つ



サプライチェーンにおける地域社会のリスクを特定し、そのリスクを軽減するために地域社会と協力する



可能な限り、事業所所在地域のサプライヤーや中小企業を雇用することを目指す





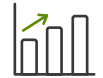
# コミュニティ支援（続き）

## 共通の目標

### 私たちが一緒にすること：



事業所の近隣地域の人々や企業がNSGグループで働くことを奨励する



地域社会への雇用促進がどれだけ成功しているかを測定し、成功率を継続的に向上させる



例えば、長期間失業している人、障害者、元犯罪者、退役軍人、COVID-19の影響を受けた人など、不利な立場にある労働者を惹きつけるのに役立つ取り組みを支援する



従業員との会話や研修を通じて、地域社会との交流の重要性と社会的価値を理解するよう奨励する

## 主要評価指標

### 該当する場合、私たちが求める報告内容：



紛争地域からの原材料を使用した製品のうち、「コンフリクト・フリー」と認定された製品の割合



紛争地域からの原材料を使用した製品のうち、「コンフリクト・フリー」の認証を受けていない製品の割合



地域社会のために関与したイニシアティブの数



調達予算総額のうち、中小企業および別途地元のサプライヤー様に支払う割合



合意された支払条件による支払いの割合



従業員に占める地元出身者の割合



地元の慈善団体に寄付した総額



# 持続可能性の優先順位付けヒートマップ°

NSGグループは、8つの優先分野でサプライチェーンの持続可能性を改善したいと考えています。

しかし、すべてのサプライヤーの性質はそれぞれ異なり、同一ではありません。サプライヤー様の社会的、環境的価値を付加する、あるいは減じる可能性は、多くの要因によって様々です。

最も重要な要素として、供給する素材や商品の種類、事業活動、地理的な位置などが挙げられます。

以下のヒートマップはこれらの要因を考慮したもので、チャーター活動の優先順位を最も効果的に決定するのに役立てることができます。

NSGグループでは、サプライヤーの皆様に対する期待や、各組織の主要業績目標を調整するために、このヒートマップを使用しています。

このヒートマップは、共通の目標に最大のプラスの影響を与えるために取り組んでいるという確信になります。（注：これらのヒートマップは、時間の経過とともに変化する可能性があります。）



# 支出ヒートマップの 카테고리

このヒートマップは、各優先分野（列見出し参照）におけるサステナビリティ・パフォーマンスを向上させるための当社の優先事項を購入する資材のカテゴリ（行見出し参照）ごとに示したものです。

グリッドの各セルは、赤、黄、緑、青のいずれかに着色されています。



赤色のセルは、その優先分野の支出カテゴリーが、本憲章における行動の優先順位が高いことを示しています。



黄色のセルは、優先順位が中程度であることを示しています。



緑色のセルは、その優先分野の支出カテゴリーの優先度が低いことを示しています。



青色のセルは、その支出カテゴリーにおいて、優れた慣行や供給基盤に触発された優先分野に関連する改善の機会があることを示しています。

優先度（赤、黄、緑のいずれか）は、以下の2点を考慮して評価しました：












ネガティブ・リスクの重大性と可能性



改善する余地



# 支出ヒートマップの 카테고리 (続き)

 素材カテゴリー	 温室効果ガス排出	 環境保護	 労働と人権	 廃棄物	 水	 透明性	 DE&I	 コミュニティ
AUTO部品材料-薬品類	Red	Red	Yellow	Red	Yellow	Yellow	Green	Green
AUTO部品材料-電気類	Green	Yellow	Yellow	Yellow	Yellow	Yellow	Green	Green
AUTO部品材料-金属類	Red	Red	Yellow	Red	Yellow	Yellow	Green	Green
電子機器製造委託	Yellow	Green	Red	Green	Yellow	Red	Yellow	Green
高機能ガラス 完成品・半製品 (グラスコード)	Yellow	Yellow	Yellow	Yellow	Yellow	Yellow	Green	Green
高機能ガラス原料	Yellow	Red	Yellow	Red	Yellow	Red	Yellow	Yellow
高機能ガラス プロセス消耗材	Green	Yellow	Yellow	Green	Yellow	Yellow	Green	Green
再販用AUTO補修部品	Red	Red	Yellow	Red	Green	Yellow	Yellow	Yellow
エネルギー&公共料金	Red	Yellow	Yellow	Yellow	Yellow	Yellow	Blue	Blue
ガラス鏡面材料	Yellow	Yellow	Yellow	Red	Green	Yellow	Green	Green
ガラス表面印刷材料	Yellow	Yellow	Yellow	Red	Yellow	Yellow	Green	Green
中間膜	Red	Yellow	Green	Red	Yellow	Yellow	Green	Green
バッチ原料	Red	Red	Yellow	Yellow	Yellow	Red	Blue	Yellow
ガラス表面コーティング材	Yellow	Red	Yellow	Green	Yellow	Yellow	Green	Green
産業ガス	Yellow	Green	Green	Green	Yellow	Yellow	Blue	Green
外部ガラス	Red	Red	Yellow	Blue	Yellow	Yellow	Blue	Yellow
IGU材料	Red	Red	Yellow	Yellow	Yellow	Yellow	Blue	Yellow
サイトマテリアル/設備	Blue	Yellow	Green	Green	Yellow	Yellow	Green	Green
工程内消耗材	Yellow	Red	Yellow	Red	Green	Red	Green	Green
梱包材	Yellow	Red	Yellow	Red	Red	Red	Green	Blue
製造外注	Green	Yellow	Yellow	Green	Yellow	Yellow	Green	Green
緩衝用パウダー	Yellow	Yellow	Yellow	Yellow	Yellow	Yellow	Green	Green
スペアパーツとメンテナンス用品	Yellow	Green	Yellow	Yellow	Yellow	Yellow	Blue	Green
工事契約	Yellow	Red	Yellow	Red	Green	Red	Blue	Green
耐火物	Red	Yellow	Yellow	Yellow	Yellow	Yellow	Blue	Yellow
ヘルスケア・安全用品	Yellow	Green	Yellow	Yellow	Green	Yellow	Blue	Green



# 地域別支出ヒートマップ

このヒートマップは類似しており、同様に機能しますが、異なる点があります。

優先分野は4つの地域（北米(NA)、南米(SA)、欧州(Eur)、アジア(Asia)）に細分化されており、行の見出しは購買部門が管理する資材カテゴリーを示しています。

従って、各セルは、その地域のそのカテゴリーの支出において、優先分野に関連する持続可能性のパフォーマンスを改善するための優先順位の評価を示しています。

色分けは、各セルの優先順位の設定方法と同様です。

素材カテゴリー	GHG排出量				環境保護				労働と人権				廃棄物				水				透明性				DE&I				コミュニティ			
	NA	SA	Eur	Asia	NA	SA	Eur	Asia	NA	SA	Eur	Asia	NA	SA	Eur	Asia	NA	SA	Eur	Asia	NA	SA	Eur	Asia	NA	SA	Eur	Asia	NA	SA	Eur	Asia
IT&保険	Green	Yellow	Yellow	Green	Green	Green	Green	Green	Yellow	Green	Red	Yellow	Red	Yellow	Yellow	Yellow	Green	Green	Green	Green	Yellow	Green	Red	Yellow	Green	Green	Green	Yellow	Green	Green	Green	Green
オフィス什器&サービス	Green	Yellow	Green	Yellow	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Red	Yellow	Yellow	Green	Yellow	Yellow	Green	Green	Green	Green	Yellow	Green	Green	Yellow	Blue	Green	Blue	Yellow	Blue	Green	Blue	Green
サイトサービス	Yellow	Green	Green	Green	Red	Green	Green	Green	Red	Red	Red	Red	Red	Yellow	Green	Yellow	Green	Green	Green	Green	Red	Red	Red	Red	Red	Yellow	Yellow	Yellow	Red	Yellow	Yellow	Yellow
通信&知的専門サービス	Yellow	Green	Green	Yellow	Green	Green	Green	Green	Red	Red	Red	Red	Green	Yellow	Green	Yellow	Green	Green	Green	Green	Yellow	Red	Yellow	Red	Yellow	Blue	Yellow	Green	Yellow	Blue	Yellow	Yellow
出張移動&宿泊	Yellow	Yellow	Green	Yellow	Green	Green	Green	Green	Yellow	Green	Yellow	Yellow	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Yellow	Yellow	Green	Green	Yellow	Blue	Yellow	Yellow	Blue	Yellow	Blue	Yellow
倉庫&デポ	Red	Yellow	Red	Red	Yellow	Green	Green	Green	Red	Red	Red	Red	Red	Yellow	Yellow	Yellow	Green	Green	Green	Green	Red	Red	Green	Yellow	Blue	Green	Green	Yellow	Blue	Yellow	Green	Yellow
検査&検定サービス	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Yellow	Green	Green	Green	Yellow	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green
設備輸送費	Red	Red	Red	Red	Red	Red	Green	Red	Yellow	Yellow	Yellow	Red	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Red	Yellow	Yellow	Red	Red	Blue	Green	Yellow	Green	Green	Green	Green
陸上運賃	Red	Red	Red	Red	Red	Green	Green	Red	Yellow	Red	Yellow	Red	Green	Blue	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Red	Red	Yellow	Red	Red	Green	Yellow	Yellow	Green	Red	Green	Green
海上運賃/航空運賃	Red	Red	Red	Red	Red	Red	Green	Red	Yellow	Yellow	Yellow	Red	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Green	Red	Yellow	Yellow	Red	Red	Blue	Green	Yellow	Green	Green	Green	Green
産廃処理&水処理	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue





**makechange**<sup>TM</sup>

**NSG**  
GROUP